

### 「福祉とボランティア活動展」 のご案内

一宮まごころは今年も活動展に参加致します。ミニデイサービスやサロンでの作品等を展示しておりますので、是非、お立ち寄り下さい。

日時 10月18日(土) 13:00~16:00  
10月19日(日) 10:00~15:30  
会場 一宮スポーツ文化センター  
まごころは2階の第2展示室

### ~まごころ ヨガ便り~

朝夕、ずい分過ごしやすい季節になってきました。また、同時に夏の疲れが出やすい時期でもあります。

まごころ広場でヨガ教室を始めて半年あまり、利用者さん、家族の方、ヘルパーさんたちとゆっくり心と体をほぐしています。ご参加いただいている方たちから、腰痛が楽になった、体がすっきりした等うれしいコメントをいただいています。呼吸にあわせて簡単なポーズ、ストレッチを中心に行っています。

一度気軽に覗いてみて下さい。年齢、体の硬さは関係ありません。

(月) 10:15~11:30

注:まごころ広場予定表を確認下さい

インストラクター: 岡崎美佐子



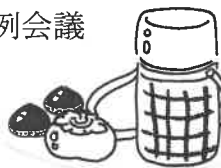
### 11月の定例会

日程 平成20年11月2(日)  
定例会 9:00~9:30  
まつり準備 9:30~10:00  
ふれあいまつり 10:00~15:00



### 10月の予定

- 1日(水) 会報「まごころ」発行サービス提供責任者会議
- 2日(木) ふれあいサロン
- 5日(日) 定例会・勉強会
- 6日(月) ヨガ教室
- 7日(火) ミニデイサービス
- 8日(水) サービス提供責任者会議
- 9日(木) ふれあいサロン
- 12日(日) 親子金華山登山
- 14日(火) ミニデイサービス
- 15日(水) サービス提供責任者会議  
まんまる相談会
- 16日(木) ふれあいサロン
- 18日(土) 一宮市福祉ボランティア活動展
- 19日(日) 一宮市福祉ボランティア活動展
- 20日(月) 児童デイサービス事務局会議
- 21日(火) ミニデイサービス  
運営委員会
- 22日(水) サービス提供責任者会議
- 23日(木) ふれあいサロン  
児童デイサービス定例会議
- 27日(月) ヨガ教室
- 28日(火) ミニデイサービス  
理事会
- 29日(水) サービス提供責任者会議  
まんまる相談会
- 30日(木) ふれあいサロン



# まごころ

特定非営利活動法人一宮まごころ

〒491-0041 一宮市文京1丁目4-6

TEL 0586-73-8707 Fax 0586-73-8870

E-mail magokoro@owari.ne.jp

ホームページ http://www.owari.ne.jp/~magokoro/

### 報告

### 避難訓練と救急救命訓練

九月二十二日(月)と二十七日(土)に児童デイ、三十日(火)にミニデイサービスで避難訓練を開催しました。

一宮市地域危険度マップによれば、一宮まごころのある文京地区では、建物の全壊率(建物の構造や建築年代と地盤のゆれやすさをもとにした家屋の倒壊率)が二十%前後を示していました。

避難する準備はいつもしていなければなりません。その一歩として避難訓練と救急救命訓練を九月に開催いたしました。

### 救急救命訓練

一宮まごころの定例勉強会として二十七日(日)一宮消防署において普通救急救命講習を受講しました。今回が三回目の受講で、AEDの機器の取り扱いにも慣れ、くり返し訓練することの必要性を感じました。



### ~ひきこもりネットワーク会議より~

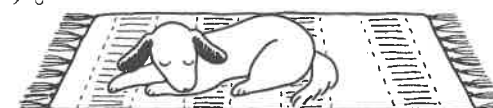
### 連携の必要性

▼9月9日に一宮保健所にて「ひきこもり地域継続支援ネットワーク会議」が開かれ、当会も出席しました。関係機関(医療・保健・福祉・教育・行政・家族の会等)が集い、今後の支援の連携のあり方と課題について話し合いました。

ひきこもり支援の現状と体験を、当事者でもあるNPO法人「もやい」の副理事長の毛利氏が自身の体験をもとに、支援のあり方を話されました。

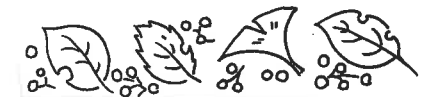
また、親の会でもあるNPO法人「なでしこの会」の伊藤氏は、ひきこもりの6割が不登校の経験者でもあることから、不登校の親の会との連携も重要であると提言がありました。

▼行政のサービスでは、障害がある方のみがサービスの対象となっているため、どのような支援を必要とするか、当事者・家族の相談窓口がまず必要です。



▼平成18年から保健所がひきこもり相談窓口を開設していますが、支援を望む多くのニーズを汲み上げる必要性があり、そのためにもネットワーク作りの意義があります。当会も有償在宅サービスの分野でその一助を担えればと思います。

当事者・家族・支援者がニーズを認め合うことを再確認し、関係機関がお互いを理解し、信頼関係を作っていくことが必要であると感じました。



### 「ひとは身を守るために殻に閉じこもることも」

- ・原因を見つけない
- ・病院への受診も手段のひとつ
- ・ひきこもった状態は回復に必要な休息时间
- ・リラックスできる時間・場所・人を見つける
- ・よかったこと、できていることを見つける
- ・楽になることを探してみる
- ・自分なりの生活リズムをつけていく

「ひきこもり」に困ったら...

回復へのヒントを考えるパンフレットより

月	会員数				市民事業						介護保険				障害福祉サービス									
	協力	利用	賛助	合計	有償活動		ふれあい活動				介護予防		訪問介護		居宅支援		居宅介護		移動支援		児童デイ			
					在宅	移動サービス	訪問	ミニデイサービス	ふれあいサロン	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数		時間		
8月	48	98	61	207	169	195	170	44	1	3	29	3	46	114	131	758	801	18	301	317	58	154	21	176

